



Rotary International

LEAD THE WAY

率先しよう

2006～2007年度

国際ロータリーテーマ：ウィリアム ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

東京赤坂ロータリークラブ

No.928 / 2006.10.20

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／荒木昭文会長

●本日の例会 / 2006年10月20日第950回例会

◎卓話

『アラブとどう向き合うかー出会いと付き合い方』

アラブ・ジャパン協会 代表 赤堀憲夫氏

— ●先週報告 / 2006年10月13日第949回例会 — クラブ創立20周年記念例会

会長報告：

本日は当クラブの20周年創立記念日でございます。皆様と祝杯をあげたいと思います。二宮会員に乾杯の御発声をお願い致します。

幹事報告：

①ポリオ撲滅キャンペーンのための「東京グレイス会・チャリティコンサート」が、11月20日トッパンホール(飯田橋)で開催されます。

②韓国ソウルRI第3650地区 地区大会参加のご案内がきております。詳しく後ろの掲示板をご覧ください。

20周年記念事業委員会：(吉岡委員)

赤坂見附時計塔設置について、お蔭様で国交省より正式許可が出まして、来週中に竣工して10月27日に贈呈式を举行します。皆様の参加をお待ちします。10月27日(金)午前11時より

会員増強出席委員会：(清水委員長)

9月の出席状況は80%にとどかず75.68%でした。例会ではよく皆様とお会いしているのに、欠席の方は比較的決まった方だと思えます。誘ってあげて下さい。

社会奉仕委員会：(庄司委員長)

例会終了後に、アイメイト協会に行きます。参加される方は13:40に受付の前に参集して下さい。

ロータリー財団委員会：(尾上委員長)

青少年交換来日学生受入れ、ホストファミリー受入れ家庭の決定。吉田(用)会員・四分一会員・岩上会員・橋本会員・早川会員・椎名会員・小原会員・以上7名の皆様です。尚、受入れ学校は青山学院高等部と交渉中です。

慶事披露：

誕生日祝 / 渡部一元君(10月8日)、庄司泰典君(10月11日)、吉岡琢磨君(10月13日)

100%出席祝 / 馬場一廣君(20年)、吉田用親君(20年)、石井謙次君(7年)

出席報告：

会員56名 / 出席33名・欠席23名(出席規定免除者5名)
ビジター / 金子尚志(東京南RC)、辻忠志(水戸さくらRC) 計4名 (順不同・敬称略)

●次週予告 / 2006年10月27日第951回例会

◎卓話予定 『最近の中東情勢』

(財)中東調査会上席研究員

(株)ゼネラルサービス専務取締役 大野元裕氏

東京赤坂・麻布RC合同親睦ゴルフコンペ

通算4度目となる麻布RCとの合同コンペが、9月28日(木)に、千葉のカメリアヒルズCCにて開催されました。前日までの大雨が嘘の如く晴れ渡り、若干、暑さが厳しかったものの、整備の行き届いた素晴らしいコースにて、総勢15名(赤坂RC12名、麻布2名、ゲスト1名)が4組に分れてプレー致しました。

優勝は、“出来過ぎ”とのコメントを出された、唯一グロスでアンダーパー 71の高須会員、練習場での調子が良かったはずの尾上会員は、不本意ながらブービー賞で、次回幹事となりました。今回は、麻布RCからの参加者が若干寂しかったものの、当クラブからは、鶴間、駒井、藤井の各新会員の皆様が積極的に参加され、



且つ、3名とも上位に食い込む健闘をされました。今後とも、このような機会を通じ、ロータリー活動の中心である親睦の輪が、ますます広がる事を参加者全員が願い、散会となりました。今回の開催にご尽力頂いた、竹本親睦委員長、高須副委員長、並びに、親睦委員の方々、大変お疲れ様でした。(勝山 記)

参加者：(赤坂RC) 高須、鶴間、駒井、藤井、庄司、石井、竹本、勝山、岩上、吉岡、尾上、椎名

(麻布RC) 佐々木、横関

(ゲスト) 下条

(順不同・敬称略)



10月5日 / 16件44,015円 / 本年度累計399,015円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

馬場一廣 / 20年の皆出席ありがとうございます。(卓話) 荒木昭文 / クラブ創立20周年記念例会を祝して。尾上寛 / フォストファミリーを引受けいただいた6名の方々本当に有難うございました。吉田用親 / お蔭様で20年皆出席できました。健康だったということだと思います。石井謙次 / 7年間アツというまででした。渡部一元 / お誕生祝ありがとうございます。いつも同じメンバーが元氣よく揃います。吉岡琢磨 / パスデー祝有りがとうございます。まだまだ50台です。庄司泰典 / 誕生祝ありがとうございます。新保國彦 / 本日のアイメイト訪問、出席できなくなりましたので。二宮利康 / 永らく欠席して済みませんでした。体調もお陽様次第。そろそろと試運転開始です。どうぞ宜しく。岩上義明 / 先週の金曜日から3日間、尾上さんとサイパンにゴルフツアーに行って参りました。サイパンは雨でした。小林克彦 / 今月もよろしく願っています。コンシニ / 皆様、5週間ぶりですネ。やっぱりサラリーマン議員はきびしいです。欠席しても皆様といつも一緒です。鶴間喜久男 / 先週の火曜会、石井幹事と“カケ”投資いただきました。ありがとうございます。親睦委員会 / 先日の合同ゴルフ会の残金です。尾関武男 / 皆様ニコニコ御協力ありがとうございました。

卓話『当クラブ創立時の思い出』

当クラブ会員（チャーターメンバー）

馬場・澤田法律事務所 所長 馬 場 一 廣

1. はじめに：表題で話をするように、吉田副会長からご指示を受けましたが、何せ20年前のことを話せということでもありますので、自信がありません。そこで、私の記憶と当クラブの創立5周年史「5年のあゆみ」「1986～1987年度第1回活動計画書」並びに創立当初の「週報」を参考にしてお話ししようと思います。

2. 当クラブと私の接点

(1) 今から20年前のある日、多分1986年夏頃 私が監査役をしていた会社の社長から「先生もそろそろ奉仕を考えたらどうですか」といわれ、新設する当クラブへの入会を誘われました。私は、ロータリーもライオンズも一切知らなかったし、正直興味ありませんでしたが、話の様子からクラブでお金を集めて募金をする集団かと受け止めて、異論はありませんでした。唯、週一回の例会出席は甚だこだわりのありましたが、なかなか執拗に勧められ入会する羽目になってしまいました。

(2) 入会にあたっては、必要書類の他選考を受けたと思いますが、それは東京會館で田島さんではなかったかと思っています。

3. それでは南RCの当クラブの設立の経緯はどんなだったのでしょうか

(1)-1 1984年末頃、南RCではクラブの内部から、会員数が200名を超えるようになったため

1) 親睦の観点からみて会員増強は限度に近づいていること

2) 多数のビジターを迎えるクラブとして例会場の物理的条件も早晚限度となること等の理由から会員増強すなわち内部拡大の延長線として外部拡大であるアディショナルクラブを結成してはどうかとの意見がでてきたようです。

(1)-2 そこで1985年6月29日アディショナルクラブ検討委員会が設置されて、

1) クラブ増強の延長として外部拡大のため、新クラブの設立を図るべきである。

2) これ以上の区域割譲は困難であるから、区域共有によるいわゆる2階建の新クラブとするべきである。

3) 新クラブの本拠地はいわゆる再開発を含む六本木、赤坂地域が最も有望であるとの意見が答申されたそうです。

(1)-3 同12月5日アディショナルクラブ準備委員会が発足し、1986年6月新クラブ設立の基本事項がまとまりましたが、その内容は名称を除いて当クラブの現行の姿、形と同じであり、原型ともいえるものであったようです。

(1)-4 唯 特筆すべきは、本クラブの誕生にあたって、南RCからキーマンメンバーが選定され、田辺賢三、田辺一郎、佐藤定宏、沖宏之、中野博義、川鍋達朗、保科正の皆さんが承認され、この7名の会員その他に新規参加の他クラブ会員、村川優（元新宿RC）齊藤茂之（西北RC）の2名の合計9名がキーマンメンバーとして新クラブの結成を進められ25名のチャーターメンバーの中に参画されたことでした。これは異例のことだと思います。また、このような当クラブの誕生と当クラブが麻布RCを作ったときの事情とを比較してみますと多くの点で異なっていると思われます。

(1)-5 そして1986年10月3日当ホテルにおいて創立会員25名を中心に市川茂人がガバナー、来賓32名、他クラブ会員31名を迎えて創立例会が開催されて、当クラブは誕生したのであります。ここで田辺賢三新会長は会長新任の挨拶の中で「わがクラブの産みの親である南クラブの自主的で明るい伝統を継承しながらそれに新しい創意と活力をみなぎらせたクラブにしたいというのが、私の念願であります」と述べられ、いよいよ新クラブとして活動を始めたのであります。

4. クラブ創立草創のクラブ活動

(1) 第1回活動計画書によれば、田辺新会長は、「ロータリークラブの基礎は、『クラブ奉仕』であると考えます。従って当面は『クラブ奉仕』の各委員会活動を進めながらクラブ基盤を固めていきたい」として

イ. 親睦

ロ. 会員に対するロータリー情報の普及、徹底に努め会員全員

がロータリー精神及びロータリーアンの特典と責務とを理解して積極的にクラブ活動に参加するように努力したい。

ハ. 会員増強

の3つを挙げられています。

(2) 会員の親睦については、毎週の例会についてはいうまでもなく、ファイヤーサイド・ミーティング（特に11月7日東商ビル「さがみ」）、忘年家族会、火曜会、ゴルフ会などあらゆる機会を通じて親睦を深め、会員増強については、11名の増強が来ました。

(3) 特筆すべきは、クラブ創立後3ヶ月間例会の卓話のほとんどはロータリー情報に関するもので占められていました。黒沢張三バスターガバナー「ロータリー思いつくま」松本栄南クラブ元会長「東京南ロータリークラブとともに」の卓話があり、キーマンメンバーによる「ロータリーとは何か」「ロータリーの社会的意義は何か」からはじまって、ロータリーの歴史、例会の運営、SAAの役割、ロータリー財団、米山記念奨学会等の卓話が行われました。1987年4月10日チャーターナイトー国際ロータリー加盟認証伝達式-679名の参加者のもとで盛大に行われました。第2年度田島年度では、第一の課題がクラブの基礎を固めるため前年度の踏襲し、第二の課題として奉仕活動が取り上げられるという順調なスタートでした。

(4) このようにお話しすると私がクラブを理解し、客観的にクラブ参加していたように思われるかも知れませんがとんでもない。全く、何にも分かりませんでしたし、寄付の負担をすれば役割は果たせると思ったことは全く見当はずれでした。それに例会でも歌を歌ったり、タスキをかけたり、等々違和感がありました。続けていくことにはすこぶる抵抗がありました。ところが、もう20年皆出席をしているのです。これは一体何なんだろうと何時も自問自答しています。

5. 今から振り返って

(1) 当クラブが現在の素晴らしい姿、形で創立20周年を迎えることができるのは、このようにクラブ創立時の着実なクラブの基礎がつくられ、しっかりした土台が出来たからであると思います。現在チャーターメンバーで在籍しておられるのは、入沢頼二、武下朗、田辺賢三、吉田用親と私の5人になってしまいましたが、爾来今日まで当クラブにかわられた会員の方々のご努力の結果だろうと感無量であります。

(2) 私は、ポール・ハリスが三人の仲間と始めたロータリークラブが100年も続き世界各国に拡がり、今や120万人の会員を擁するようになったということは、一体何なんだろう。勿論親睦の延長のみであればこんなに続くわけではない。奉仕に道を開いたことによってロータリーは広がった。しかし、そこには克服しないといけないテーマが存在した。

○ロータリーにとって重要なのは、在り方にあるのか、それとも行動にあるのか。

○行動は個人によるべきか、それとも団体として行うべきか

○ロータリーは「公共の問題」と取り組むべきか、それとも「市民活動」に関心をもつべきか -もしそうだとしたら、どの程度までどのようにしてか

○社会奉仕と職業奉仕といずれを優先すべきか、それともどちらか一つか、それだけで、充分か

○RIとの関係において各クラブは完全自治を認められるべきかそれとも部分的自治しか与えられるべきでないのか等々根本問題がありました。

これらロータリー草創期には克服しないといけない根本問題があり、これについては、ロータリアンは喧々囂々の議論をし、ロータリーの姿・形を作ってきたように思います。そして、これらの根本問題解決するときには、ロータリーの歴史に残るようなロータリアンが登場をする。これらの人物にも興味をひかれました。これはロータリーの尽きせぬ魅力でした。私はこの魅力にひきつけられてきたのだと思います。そして、それを知ることは自分の生き方あるいは仕事の仕方を考える参考になったように思います。

(3) 最後にロータリーも新たな世紀の一步に入りました。当クラブも創立21年に入ります。そして時代は変化します。ロータリーも当クラブも変化しなくてはならないでしょうし、変化するでしょう。しかし、いかに変化するかということは、ロータリーをいかに理解するかということにかかってきます。クラブの自主性こそが益々問われると思います。

田辺賢三創立会長が創立総会の挨拶でいわれた「南クラブの自主的で明るい伝統を継承しながら、それに新しい創意と活力をみなぎらせたクラブとして発展することを願うばかりです。」